



# 筑前町【福岡県】 歴史文化基本構想

■ 策定年月：平成29年3月 ■ 人口：29,431人 ■ 面積：67km<sup>2</sup>  
■ 担当課：筑前町教育委員会 教育課（平成30年3月現在）



地域に存在する文化財を指定や登録、未指定にかかわらず幅広くとらえ、的確に把握し、歴史文化資源をその周辺環境まで含めて総合的に保護継承するための基本構想。筑前町特有の資産ともいえる歴史や文化財を地域の人々が協働して継承し、地域の宝として育てるため、町民、専門家、行政などの様々な主体が協力して、歴史文化を生かしたまちづくりを推進する。

## 5 歴史文化を表す つのキーワード

戦争遺跡、大藤まつり、石造物と信仰、  
仙道古墳と盾持武人埴輪、神宮皇后や地名に関する伝承

### 課題

- ・ 周辺環境と一体となった歴史文化資源の保存活用整備
- ・ 文化資源に対する情報発信の不足

### 保存活用方針

- ・ 歴史文化資源を次世代に継承する
- ・ 歴史文化資源を整備し、活用する
- ・ 地域の団体・人材を育成する
- ・ 情報発信を行い交流の輪を広げる

## 保存活用のための取り組み

### 歴史文化資源の保存と継承

文化財や伝承の保存や記録の作成を行い、良好な状態で保全する。また文化資源の価値を町民や来訪者にわかりやすく伝えるための、解説版やガイダンス施設の整備を行う。



### 史跡整備やンスガイド施設の整備

今後文化財として指定される可能性のある歴史文化資源については積極的に整備や修復を行うとともに、町の歴史文化資源を案内紹介するガイダンス施設の整備を行う。

### 地域活動の支援とボランティアガイドの育成

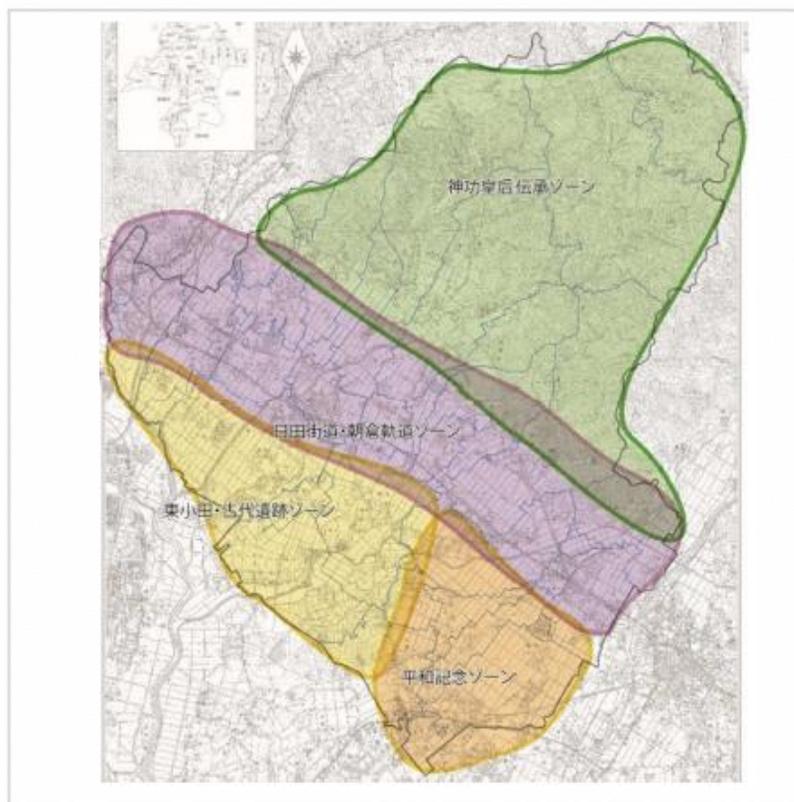
地域で活動する団体やNPO法人などに、ハード、ソフトの両面から支援する。また、歴史文化資源のボランティアガイドの育成を強化し、行政とのパートナーシップを築くことで協働による地域活動や地域資源の継承を促進する。

### 歴史文化資源・観光・食・土産のPR

仙道古墳や焼ノ峠古墳などの歴史文化資源、大藤まつりなどの観光資源、地元で採れる野菜や果物をはじめとした食・土産等、町内の特色を生かした、複合的な施策を展開し、様々な手法で情報発信を行う。



## 活用地区



計画目標に基づき各種事業の実現を目指すため、様々な歴史文化資源、地理的環境、景観特性をもとに、歴史を重層する資源や地域性から文化財施策のためのゾーンを4つ設定した。平和記念ゾーンには、戦前、大刀洗飛行場があり、関連施設、その周辺の旧陸軍施設など当町の特徴を示す歴史文化資源である戦跡遺構が残る。回遊ルート案内など文化財探訪回遊ルートを再検討するとともに平和推進事業での活用に努めている。

### ストーリー

- ・日田街道・朝倉軌道ゾーン
- ・神功皇后伝承ゾーン
- ・平和記念ゾーン
- ・東小田・古代遺跡ゾーン

## 策定後の成果（見込まれる効果）

### ① 郷土愛の育成と文化資源の継承

指定や登録、未指定に係らず町民共有の財産である地域の歴史や貴重な歴史文化資源の価値を再確認することで、郷土への誇りと愛着につながり、歴史文化資源は後世に継承すべきものであると住民の意識向上にもつながる。



### ② 地域の連帯感の増進と活性化

これまで継承されてきた歴史文化資源を核とした、地域での自主的な活動が発生しコミュニティでの連帯感の増進と地域の活性化が見込める。



### ③ 行政と地域との連携強化

歴史文化資源を単一的にとらえるのではなく、周辺環境と一体的に保存・活用し、農業や観光など、様々な分野との連携を測ることで、地域や町内の各団体との連携強化や地域活性化が図られ、コミュニティ再生の契機となる。

